

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	青森県電子自治体推進協議会		代表者名	会長 田澤 謙吾	
担当者部署	事務局		連絡先電話番号	017-734-9163	
担当者役職	事務局	担当者氏名	田中 友樹	連絡先E-mail	
住所	030-8570 青森県青森市長島1-1-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	青森県	連絡先部署	企画政策部DX推進課		
担当者氏名	田中 友樹	連絡先電話番号	017-734-9163	連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大木 一浩
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	<ul style="list-style-type: none">午前9時から午後2時30分まで県職員の相談に対応し、わかりやすく説明いただいた。午後3時からの90分の講演において、DXやオープンデータ、標準化について分かり易く説明いただいた。
アドバイザーへの要望事項	・特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年9月15日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			9時00分	17時00分	60
			活動時間（分）	420	
3-2. 派遣場所	会場名	青森県男女共同参画センター	最寄駅	青森駅	
	所在地	青森市中央3丁目17番1号	最寄駅からの交通手段	県庁から車での往復	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	--------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	相談支援 県観光企画課、県構造政策課、県DX推進課、講演 県内市町村 情報主管課 課長ほか（現地、オンライン）、	59 人

5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	（協議会）県内市町村ではDXの本質であるデータ利活用に関して、各種データセットをオープンデータとして公開する取組が進んでいない。 （データ基盤）データ連携基盤の整備について検討しているが、整備にあたっての課題や市町村支援の考え方が整理されていない。 （観光）これまで蓄積した観光情報発信に関する800コンテンツ分のデータの効率的な活用について模索している。 （農業）新規就農者（企業）への農地紹介のデジタル化に向けどういった手法が効率的か検討している。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	（協議会）県内市町村ではDXの本質であるデータ利活用に関して、各種データセットをオープンデータとして公開する取組が進んでいない。 （データ基盤）データ連携基盤の整備について検討しているが、整備にあたっての課題や市町村支援の考え方が整理されていない。 （観光）これまで蓄積した観光情報発信に関する800コンテンツ分のデータの効率的な活用について模索している。 （農業）新規就農者（企業）への農地紹介のデジタル化に向けどういった手法が効率的か検討している。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	(協議会) DXの定義から背景や目的、オープンデータや標準化・共通化の意義や国の計画における自治体DXの役割などを講演いただいた。 (データ基盤) データ連携基盤について、資料をもとに丁寧にご説明いただいたほか、先行している他県の状況の紹介や、県と市町村の必要とするデータの違いなどについてアドバイスをいただいた。 (観光) 観光に関する情報をオープンデータとして整備することや、観光客向けのツアーに対するレコメンドシステムの構築方法などのアドバイスを受けた。 (農業) 就農希望者への情報発信や手続きデジタル化に関する事例や統合型GIS活用に関する事例の紹介を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	(協議会) 県内各市町村の情報主管課の職員のDXやオープンデータ、標準化に対する認識が一定程度深まった(データ基盤) データ連携基盤の整備にあたっては、データの棚卸(データの有無、ファイル形式)が重要であることから、そのような視点を持ち検討・市町村支援を進める。 (観光) 蓄積された情報をデータとして利活用できるよう、作業を担当できる業者を紹介してもらい、概算見積もりを徴取することにした。 (農業) グーグルマップの活用を図るとともに、県庁内で統合型GISの活用事例がないか確認することとした。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	(協議会) 現時点では特になし。 (データ基盤) 現時点では特になし。 (観光) 現時点では特になし。 (農業) いただいたアドバイスを基にさらに情報収集を進め、事業構築をするか検討することとした。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 (協議会) 講演終了後に質疑応答の時間を設けており、アンケートを実施する前提ではなかったため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	(協議会) 県内各市町村のDXの更なる促進。 (県庁各課) それぞれの分野でのDXの推進。	

#REF!

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

